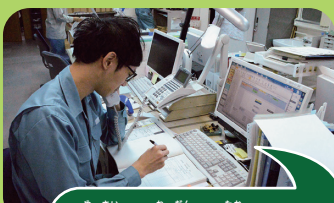


動物園のエサのご紹介!

動物園では、動物たちがエサを食べているところを見ることができませんが、では、いったいそのエサはどこから来て、どんな風に動物たちに与えられているのでしょうか？今回は円山動物園の「エサ」に注目して、その謎を探ってみましょう！

START エサの注文

まず最初に、エサを買うところから始まります。エサの種類はとってもたくさん!円山動物園では、30社以上の問屋さんなどから野菜や肉、魚などを買っています。エサとなる野菜や肉などは、実は皆さんが普段食べているものとはほぼ同じなんです。もちろん、品質、鮮度などがきちんとチェックされた安全・安心なエサを買っています。



毎日の仕事であるエサの発注業務。基本的な量は決まっていますが、動物の体調などで増減するので、飼育員と連絡を取り合って調整しています。

野菜の値段が高くなっていることは知っているかな?実は動物園でも野菜が高くて困っているんです。なるべく安く買えるように、長く保存できるものは大量にまとめ買いをして工夫しています。
byエサ購入担当 清水さん

届いたエサを保管

動物園には、飼料庫という大きな冷蔵庫と冷凍庫があります。冷凍庫の中はなんとマイナス18度!ここでエサを新鮮なまま保管しています。

冷凍庫にあるカチンコチンの豚の背骨!

動物舎への運搬

朝、トラックにエサを積んで各動物舎に運びます。約2時間かけて、ほぼ全ての動物舎に運んでいきます。

エサの調理

エサは、主に「切る」「煮る」といった調理をしてから動物たちに与えます。動物の口の大きさや形、噛む能力などによって、エサの大きさを変えて、食べやすくしています。

腐っていたり、鮮度が落ちていないかな?よく確認しながらエサを調理しているよ。
by飼育員 李さん

栄養が偏らないように、たくさんの種類のエサを混ぜて与えています。

GOAL 動物たちが「いただきます!」

エサの量が足りていなかったり、食べ残しがあったりしないかチェックすることはとても大事!病気の早期発見など、とても重要な情報の一つになります。

ムツオビアルマジロ
オニオオハシ

「いただきます」ということ

動物たちのエサは、野菜、果物、草類のほか、他の動物である馬や鹿の肉、鶏なども与えています。一見「かわいそう」と思ってしまうこともあるかもしれませんが、でも、考えてみてください。私たち人間も、牛や豚の肉、魚を食べていますね。動物たちが生きていく上での「食べる」「食べられる」の繋がりを「食物連鎖」といいます。食事をするときには、私たちが含めた生き物のいのちが繋がっているということを思い出してみてください。きっと、食事の前に「いただきます」と言うことの意味に気付くはずですよ。

みんなのドキドキ体験

毎日日替わりで、飼育員さんによる動物たちの生態などの解説や、エサやりの様子を見ることが出来ます。動物たちの食事シーンをのぞいてみよう!

※メニューは当日朝に決まりますが、天候や動物の体調等によって中止する場合があります。HPや園内の掲示板で確認できます。